

みやこ祭 首都大学東京同窓会講演会

日時:平成26年11月3日(月・文化の日)13時00開場

講演 13時30分～14時30分

会場:南大沢キャンパス1号棟120番教

てい たい きん

講師: 鄭 大 均 首都大学東京名誉教授



今 日本に問われていることは何か

戦後の日本人は、隣国である韓国のどのような事象にどのような関心を抱き、それはどのように変化してきたのか。また、日本人の韓国に対する眺めは、自国に対する眺めによってどのように規定され、それはどのように変化してきたのか。本講演では、戦後の日韓関係をおおまかに四期に分け、今、日本に問われていることは何かを考えるものである。

講師: 鄭大均 (てい・たいきん) 氏 プロフィール

1948年岩手県北上市生まれ。立教大学とアメリカのUCLAで学ぶ。81年から95年まで韓国の大学で教鞭をとる。95年から東京都立大学大学院人文科学研究科助教授、のちに教授。

2013年3月首都大学東京大学院人文科学研究科社会人類学専攻定年退職、名誉教授。

現在首都大学東京特任教授。専門はエスニック研究、日韓関係。著書に『韓国のイメージ』(1995年、中公新書)、『日本のイメージ』(1998年、中公新書)、『在日の耐えられない軽さ』(2006年、中公新書)、『在日韓国人の終焉』(2001年、文春新書)、『在日・強制連行の神話』(2004年、文春新書)、『姜尚中を批判する』(2011年、飛鳥新社)、『韓国が「反日」をやめる日はくるのか』(2012年、新人物往来社)ほか。

主催: 首都大学東京同窓会・イベント委員会

問い合わせ: 同窓会事務局 電話 042-670-7702